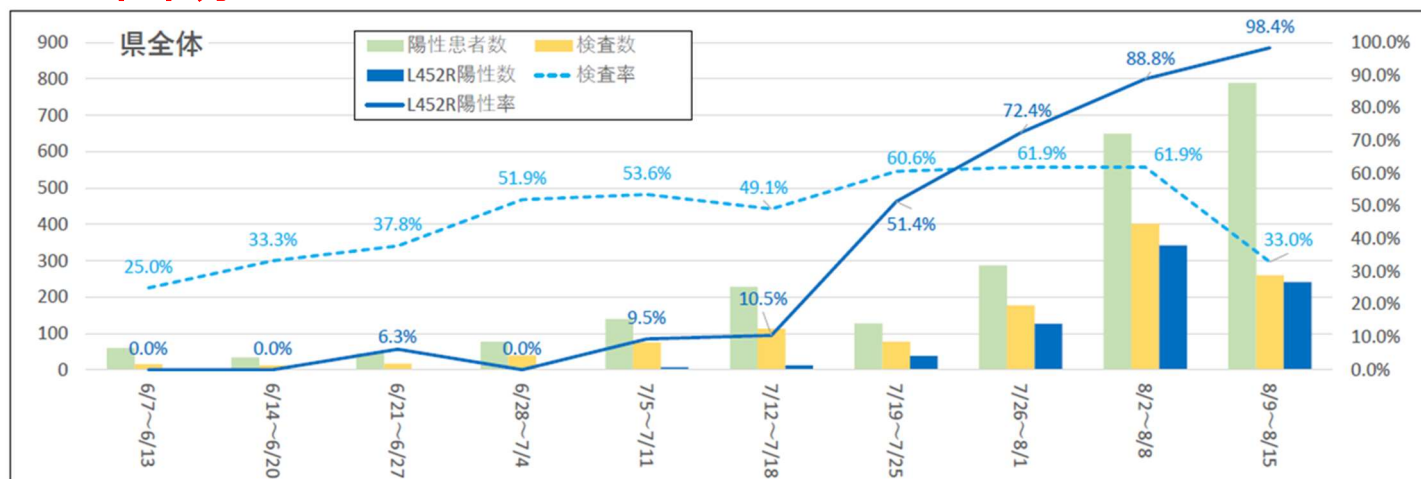


県民の皆様へ感染対策の強化の呼びかけ

東北医科薬科大学医学部 賀来満夫特任教授など

宮城県感染症アドバイザリーボードの専門家のご意見をもとに作成

- 宮城県内では、**変異株 L452R（デルタ株と疑われる変異株）の感染が拡大し、ほぼ従来株から置き換わっている**
- **変異株 L452R は非常に感染力が強く、従来の感染対策では不十分**



※8/9~8/15の陽性患者のうち、検査を行った260件の98.4%の241件がL452R(判定不能15件除く)

最近の感染の傾向

- 感染の中心は20代~40代
- 家庭を持つ働き盛りの年代が感染し、**家庭内や職場で感染を広げる事例が増えている**

① 家庭内感染の防止

- ・帰宅時の手洗いの徹底
- ・タオルを共用しない
- ・静かに食事をする。料理はできるだけ小分けにする
- ・こまめに換気をする



など

② テレワークの推進

- ※ 職場内で感染を広げないように、できるだけテレワークで感染防止



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**2メートルの距離**をとり、**会話の時間は短く**する

※ 従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる



- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する

※ ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



- ③ **こまめに換気**をする

※ 家庭用エアコンで換気はできない
※ 冷房をしても定期的に換気をする
※ 2箇所窓を開け、扇風機で空気の流れをつくり、常時換気することが望ましい



- ④ 速やかに**ワクチン**を接種する

※ 高齢者のワクチン接種は概ね完了
次は若年者がワクチン接種を



- ⑤ 感染者が増加しているときは、**普段会わない人（家族以外の人）と会うのは避ける**

※ 最近会っていなかった友人や知人、初めて会う人との接触はできるだけ減らす
休日のそうした行動で感染しているケースが多く、休日後の感染拡大につながっている
リモートでのコミュニケーションを積極的に取り入れる

